

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社アートフォースジャパン 上場取引所 東
 コード番号 5072 URL <https://www.artforcejapan.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 喜廣
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営統括本部長 (氏名)持塚 隆 (TEL)0557(45)1109
 四半期発行者情報提出予定日 2021年8月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,038	△7.5	20	△48.6	16	△53.8	4	△79.5
2020年12月期第2四半期	2,204	—	39	—	35	—	23	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 18百万円(43.2%) 2020年12月期第2四半期 13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第2四半期	円 銭 19.52	円 銭 —
2020年12月期第2四半期	95.43	—

- (注) 1. 当社は2019年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2020年7月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年12月期第2四半期	百万円 2,770	百万円 742	% 26.8
2020年12月期	2,926	723	24.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 742百万円 2020年12月期 723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,536	6.0	95	435.5	84	—	50	—	199.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	251,000株	2020年12月期	251,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	-株	2020年12月期	-株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	251,000株	2020年12月期2Q	251,000株

(注) 当社は、2020年7月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、当決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)における我が国経済は、前年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しております。同感染症に対する今後の各種政策効果を期待するように国内経済の一部に持ち直しの動きが見られました。先行きについては、ワクチン接種数の加速が進むことにより、国内経済持ち直しの動きが続くことを期待されますが、一部の地域においては断続的に緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用されるなど、企業業績や雇用情勢への影響も含め、依然として不透明な状況が続くと思われま

す。当社グループが主に属する戸建て住宅建設業界では2021年6月30日公表の2021年5月住宅着工統計において持家をはじめとする全ての住宅が前年同月と比較してプラスに転じするなど、政府の各種住宅取得支援策や低金利下での良好な資金調達環境を背景に戸建て住宅取得意欲は引き続き高い状況にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるワークスタイルや消費行動の変化等と米国および中国をはじめとする世界的な建築用木材の需要増加ならび欧米における貨物船コンテナ滞留の影響により引き起こされた木材価格の高騰と供給不足から来るウッドショックの影響により住宅着工計画の遅滞または減少が懸念されており、競合他社との受注獲得競争は引き続き厳しい環境が続くものと予測しております。

このような事業環境のなか、新型コロナウイルス感染症の感染予防と拡大防止に引き続き取り組んでおり、感染予防対策コストを含めた上での原価低減と工事採算性を重視した受注方針徹底のために、個々の受注案件工程全般にITを活用したシステムの導入運用を開始し、施工過程の可視化を進めて施工管理と品質・技術の向上に努めております。また、販管費削減も合わせて継続して実施することにより更なる、工事粗利益と営業利益の向上に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高 2,038,344千円(前年同期比 7.5%減)、営業利益 20,251千円(前年同期比 48.6%減)、経常利益 16,495千円(前年同期比 53.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 4,899千円(前年同期比 79.5%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(地盤改良事業)

当社グループの中核事業である地盤改良事業におきましては、引き続き工事受注件数および受注単価の維持ならびに工事原価削減に努めております。一部資材の高騰による影響が出ておりますが、その他工事原価と販管費の更なる削減を図ってまいりました。当第2四半期連結累計期間における売上高は 1,574,261千円(前年同期比 4.8%減)、セグメント利益は 97,287千円(前年同期比 20.2%減)となりました。

(建築事業)

建築事業におきましては、前年からの公共工事繰越高減少と営繕工事において一部着工遅れによる影響がありましたが、公共工事および住宅建築工事については採算を重視した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は 344,409千円(前年同期比 14.9%減)、セグメント利益は 32,164千円(前年同期比 150.0%増)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、建設資材レンタル及びリースの受注件数ならびに受注単価減少と、引き続き新規貸出資材導入に伴う経費増加の影響があり、当第2四半期連結累計期間における売上高は 122,150千円(前年同期比 19.1%減)、セグメント損失は 5,623千円(前年同期はセグメント利益 8,376千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、2,770,294千円となり、前連結会計年度末に比べ 155,766千円減少となりました。このうち、流動資産は1,380,455千円となり、この主な要因は「現金及び預金」が100,442千円、「受取手形・工事未収入金等」が 39,012千円、「未収入金」が 28,231千円減少、「電子記録債権」が 23,528千円、「未成工事支出金」が 15,182千円増加したことなどによるものであります。また、固定資産は 1,389,839千円となり、この主な要因は、有形固定資産取得による増加 62,063千円、有形固定資産に係る減価償却費による 104,134千

円減少、無形固定資産は「のれん」の償却による13,107千円減少、投資その他の資産は「投資有価証券」が23,751千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,028,086千円となり、前連結会計年度末に比べ174,692千円減少となりました。このうち、流動負債は1,417,647千円となり、この主な要因は「工事未払金」が29,485千円増加、「1年内返済予定の長期借入金」が46,895千円、「未成工事受入金」が46,589千円減少したことなどによるものであります。また、固定負債は610,438千円となり、この主な要因は、「長期借入金」が36,389千円、「リース債務」が69,100千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は742,208千円となり、前連結会計年度末に比べ18,926千円増加となりました。この要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる「利益剰余金」が4,899千円、「その他有価証券評価差額金」が14,026千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、514,540千円となり、前連結会計年度末に比べ100,443千円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、126,227千円(前年同期は、179,514千円の収入)となりました。収入の主な内訳は、「税金等調整前四半期純利益」18,187千円、「減価償却費」106,415千円、「賞与引当金の増加額」16,466千円、「仕入債務の増加額」29,725千円などであり、支出の主な内訳は、「未成工事受入金の減少額」46,589千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出された資金は、55,529千円(前年同期は、21,046千円の支出)となりました。支出の主な内訳は、「有形固定資産の取得による支出」56,356千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出された資金は、171,141千円(前年同期は、200,378千円の支出)となりました。支出の内訳は、「長期借入金の返済による支出」83,284千円、「リース債務の返済による支出」87,857千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。詳細につきましては、2021年8月12日公表の「第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。2021年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年2月12日の開示時点から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後、様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,215	567,773
受取手形・工事未収入金等	627,338	588,325
電子記録債権	62,440	85,968
未成工事支出金	21,722	36,904
商品	3,917	3,875
原材料及び貯蔵品	11,252	9,933
未収入金	79,420	51,188
その他	33,134	38,672
貸倒引当金	△2,548	△2,187
流動資産合計	1,504,893	1,380,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	126,708	122,907
機械装置及び運搬具(純額)	83,103	112,625
土地	426,068	426,068
リース資産(純額)	441,745	372,176
その他(純額)	11,191	9,669
有形固定資産合計	1,088,817	1,043,448
無形固定資産		
のれん	34,954	21,846
ソフトウェア	5,932	4,554
その他	1,715	1,696
無形固定資産合計	42,602	28,097
投資その他の資産		
投資有価証券	108,409	132,160
繰延税金資産	40,047	40,980
長期前払費用	88,487	92,090
差入保証金	34,184	32,736
その他	25,688	27,361
貸倒引当金	△7,069	△7,035
投資その他の資産合計	289,747	318,293
固定資産合計	1,421,168	1,389,839
資産合計	2,926,061	2,770,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	336,596	366,082
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	131,568	84,673
リース債務	170,030	156,559
未払法人税等	4,782	19,330
未払金	72,128	72,572
未払費用	90,571	78,915
未成工事受入金	53,423	6,834
賞与引当金	8,589	25,055
工事損失引当金	3,261	—
その他	20,400	7,625
流動負債合計	1,491,352	1,417,647
固定負債		
長期借入金	310,131	273,742
リース債務	319,298	250,197
退職給付に係る負債	81,248	86,088
その他	749	410
固定負債合計	711,427	610,438
負債合計	2,202,779	2,028,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,980	50,980
利益剰余金	677,825	682,725
株主資本合計	728,805	733,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,523	8,502
その他の包括利益累計額合計	△5,523	8,502
純資産合計	723,282	742,208
負債純資産合計	2,926,061	2,770,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高		
完成工事高	2,057,341	1,918,624
兼業事業売上高	147,450	119,719
売上高合計	2,204,791	2,038,344
売上原価		
完成工事原価	1,676,155	1,563,149
兼業事業原価	94,735	87,091
売上原価合計	1,770,891	1,650,240
売上総利益		
完成工事総利益	381,185	355,475
兼業事業総利益	52,714	32,628
売上総利益合計	433,900	388,103
販売費及び一般管理費	394,489	367,852
営業利益	39,410	20,251
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,824	2,676
受取保険金	3,138	861
その他	8,270	4,294
営業外収益合計	14,232	7,832
営業外費用		
支払利息	10,655	9,913
上場関連費用	5,900	—
その他	1,417	1,674
営業外費用合計	17,972	11,588
経常利益	35,670	16,495
特別利益		
固定資産売却益	5,154	1,691
特別利益合計	5,154	1,691
税金等調整前四半期純利益	40,825	18,187
法人税、住民税及び事業税	30,076	21,445
法人税等調整額	△13,204	△8,158
法人税等合計	16,871	13,287
四半期純利益	23,953	4,899
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,953	4,899

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	23,953	4,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,733	14,026
その他の包括利益合計	△10,733	14,026
四半期包括利益	13,219	18,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,219	18,926

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,825	18,187
減価償却費	105,397	106,415
のれん償却額	13,107	13,107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,081	△394
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,512	16,466
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△464	△3,261
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,737	4,840
受取利息及び受取配当金	△2,824	△2,676
支払利息	10,655	9,913
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,154	△1,691
売上債権の増減額(△は増加)	178,332	15,518
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,789	△13,821
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,768	29,725
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△60,746	△46,589
その他	△25,855	△15,497
小計	200,463	130,242
利息及び配当金の受取額	2,824	2,676
利息の支払額	△10,529	△9,951
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,243	3,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,514	126,227
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,137	△56,356
有形固定資産の売却による収入	5,535	1,691
投資有価証券の取得による支出	△2,505	△2,499
その他	1,061	1,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,046	△55,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△123,280	△83,284
リース債務の返済による支出	△77,098	△87,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,378	△171,141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,910	△100,443
現金及び現金同等物の期首残高	743,636	614,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	701,725	514,540

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症拡大の会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に関して、合理的に見積ることは困難ですが、当第2四半期連結会計期間末において、外部の情報等を踏まえ2021年12月期下期において緩やかに回復していくと想定して、繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行なっております。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地盤改良事業	建築事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,652,448	404,892	147,450	2,204,791	—	2,204,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,676	—	3,533	5,209	△5,209	—
計	1,654,124	404,892	150,983	2,210,000	△5,209	2,204,791
セグメント利益又は損失(△)	121,890	12,867	8,376	143,134	△103,723	39,410

当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地盤改良事業	建築事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,574,261	344,363	119,719	2,038,344	—	2,038,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46	2,431	2,477	△2,477	—
計	1,574,261	344,409	122,150	2,040,822	△2,477	2,038,344
セグメント利益又は損失(△)	97,287	32,164	△5,623	123,829	△103,578	20,251

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。